

様式1（小学校）

令和8年度 くまもとスポ好き共創プロジェクト「1学校1チャレンジ」

ふりがな	ゆのまえちようりつゆのまえしょうがつこう	ふりがな	なかむら ゆき
(市町村立)学校名	湯前町立湯前小学校	校長名	中村 友紀
電話番号	0966-43-2014	ふりがな	あべ てつや
メールアドレス	yusho@tsubaki.higo.ed.jp	記入者氏名	阿部 哲也

1 学校の実態

○スクールデータ

<令和7年度>					<令和8年度>				
・児童数	136	人			・児童数	124	人		
・学級数	(8)	学級			・学級数	(7)	学級		
・運動やスポーツをすることが好き	74	%	90	%	・運動やスポーツをすることが好き		%		%
・運動やスポーツをすることがどちらかという好き	16	%			・運動やスポーツをすることがどちらかという好き		%		%
・体育の授業が楽しい	67	%	90	%	・体育の授業が楽しい		%		%
・体育の授業がどちらかという楽しい	23	%			・体育の授業がどちらかという楽しい		%		%

2 本年度の学校における体育・健康に関する指導計画

(1) 重点的に取り組む項目を記入する。

右枠から番号を選択する(複数可)	① 運動やスポーツをすることが好きという児童を育むための取組 ② 体育の授業が楽しいという児童を育むための授業改善 ③ 運動領域と保健領域の一層の関連を図るための取組(各教科等との関連を含む) ④ 朝食摂取、睡眠時間の確保、スクリーンタイムの増加への対応など、望ましい生活習慣の定着に向けた取組
------------------	--

(2) 重点的に取り組む項目を設定した理由を自校の児童の現状や課題に触れながら、構想や方針について説明する。

<自校の現状や課題>															
① 令和8年度体力テスト結果より 体力テストの結果では、D、E判定の児童が、24人(全体の20%)と多い。特に6年生が9人と多く、学年差が大きい現状がある。また、全体的に持久力に課題が見られる。 昼休みには、体育館や運動場で毎日のように遊ぶ児童と、教室や図書館で過ごす児童との二極化がある。こちらも学年差が大きく、こうした差が体力テストの結果の差につながっていると考えられる。															
② 令和7年度アンケート結果より 「体育の授業は楽しいか」という質問に「あまり楽しくない」と回答した児童が現6年生に4名、現3年生に1名いた。															
④ 令和8年度生活アンケート結果より 3年生以上を対象とした生活アンケートでは、朝食に関して、約10%の児童が「ときどき食べる」あるいは「食べない」と回答している。また、平日のメディア利用が3時間以上である児童の割合が30%近くあり、望ましい生活習慣の定着に向けた啓発や児童の意識改革が必要である。															
<実践内容>															
① 委員会活動と連携して、学校全体で取り組む運動遊びを計画し、運動の機会を増やしていく。また、持久走大会の練習期間に朝のランニングタイムを設定し、持久力の向上に努める。															
② 校内研修の時間に実技研修などの復講を行い、児童が体育を「楽しい」と思える授業づくりについて、全職員で情報を共有する。															
④ 月末に実施するアンケートで児童の生活習慣の実態を把握し、養護教諭や栄養教諭と連携しながら、朝食摂取の必要性に関する食育指導や、生活習慣改善に向けた保健指導を実施する。また、学級懇談会などの機会に親の学びの時間を設定し、児童の生活習慣の課題について考えてもらう機会とする。12月には栄養教諭と連携して保護者に向けた「食育講話」を実施し、朝食摂取に対する意識の高揚を図る。															

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	人数	%
A	2	1	1	4	2	1	2	1	3	1	2	2	22	18
B	6	3	1	1	0	2	2	6	9	1	2	7	40	33
C	3	2	2	1	7	4	0	4	2	4	2	5	36	29
D	1	0	0	0	3	1	3	1	2	1	4	3	19	16
E	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5	4

令和8年度体力テスト結果